

アライグマの捕獲技術(箱ワナ編)

問い合わせ先

アライグマ研究グループ 佐藤 万里子
E-mail: msashika@vetmed.hokudai.ac.jp
Tel: 011-706-5104 / Fax: 011-706-5569



1. 設置場所の選定

- (ア) 河川、ため池、湿地、用水路などの水辺
- (イ) 沢の始点や開けた環境にある防風林内
- (ウ) 畑、水田、納屋、畜舎などのへり

設置の際には、足跡や食痕などの痕跡を判断材料にすると確実です。また、納屋や畜舎、屋根裏で繁殖する場合には、特定の場所に「ため糞」をすることも知られています。



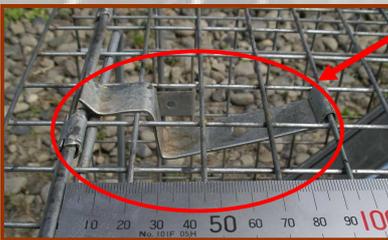
2. ワナ組み立ての際の注意点

| 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づく アライグマ及びアメリカミンクの防除 | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|-----|---|---|---|-----|--|--|
| 氏名 (実施主体) | () () () () () () () () () () | | | | | | | | | |
| 住所 | () () () () () () () () () () | | | | | | | | | |
| 連絡先 | () () () () () () () () () () | | | | () () () () () () () () () () | | | | | |
| 確認・認定 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 第 | 号 | | | | |
| 防除の期間 | 平成 | 年 | 月 | 日から | 平成 | 年 | 月 | 日まで | | |

折りたたみ式箱ワナ#1089の場合¹
(写真は、米 Havahart 社製：約 4kg、82Lx27Wx30H [cm])

ポイント1

外来生物法又は鳥獣保護法に基づく捕獲であることを示す看板を掲示してください



ポイント2

ストッパーがしっかりと下りることを確認する。下りないときは、フタの板バネで調整する



ポイント3

フックが金網の後ろにあることを確認する。ステップの強度は、ペンチなどを使ってトリガーの角度で調整する



ポイント4

後扉のU字金具を曲げられて逃亡するケースが一番多いので、接合箇所は必ず結束バンドや針金で補強する

¹ 折りたたみ式のワナとしては、本機種が最大で、アライグマの捕獲に十分耐えうるが、#1081などの大型機種の方が、強度、耐久性に優れており、大型個体の捕獲にも適している

3. 餌の選定

- (ア) 肉や魚などは、劣化も早く、他の肉食動物の混獲を誘発するため、あまり適しません
- (イ) 農作物の使用は、被害を助長する危険性があります
- (ウ) アライグマは手の感覚が鋭いため、ドッグフードなどの固い撒餌は、捕獲効果を高めるのに有効です
- (エ) アライグマは雑食性ですが、甘い匂いや油臭の強いものは特に誘引効果が高いようです
- (オ) 市販の誘引剤(ルアー)は、生餌と比べて誘引効果に劣るようです

グループでは、ステップの奥に揚げパン、手前にコーン菓子、周囲にドッグフードの撒き餌を散布することで効果を上げています



4. ワナの設置

- (ア) 直射日光の当たる場所を避け、なるべく平らな所に、ペグなどでしっかりと固定する
- (イ) 設置場所とその周辺の草や石などを取り除く。ステップ下と入り口付近は、特に念入りに・・・
- (ウ) 草やビニールなどで覆いをかけることで、捕獲個体の熱中症や鳥類の混獲頻度を軽減できる
- (エ) 人家周辺や畜舎にワナを設置する際は、目立つように危険表示板を付け、子供が間違っ触らないように注意しましょう

飼いネコなどの混獲がご近所とのトラブルに発展した例もあるので、事前に周知するよう心がけましょう



揚げパンをペグで刺すことで、小動物による餌の持ち逃げを軽減できます



覆いをかける

危険表示板例



木の枝などでフタが開かないように門をかける

5. 見回りと回収、運搬時の注意

- (ア) 事故・混獲防止のため、できるだけ日中はワナを閉め、必ず1日1度は見回りを行う
- (イ) 他動物の混獲があった場合は、速やかに放逐する
- (ウ) アライグマの捕獲があった場合は、逃亡を防止するため、入り口に棒などを刺してからワナを動かす
- (エ) 捕獲個体は興奮状態にあり、大変危険ですので、むやみに近づいたり、手を出したりしないでください
- (オ) 運搬時には、ブルーシートなどでワナ全体を覆うとおとなしくなります
- (カ) 尿や糞などによる汚染に注意し、作業終了後は、石鹸でよく手を洗ってください

万が一、怪我を負ったり、具合が悪くなった場合には、速やかに病院に行き、お医者さんにアライグマの捕獲を行っていたことを伝えてください



運搬の際は、ブルーシートなどで覆って暗くすることでアライグマは落ち着きます



最後に・・・

- (ア) アライグマは、ワナに対する警戒心が弱く、箱ワナで十分な捕獲効果が望めます。事故の危険もありますので、トラバサミなどの違法ワナは絶対に使用しないでください。
- (イ) 捕獲個体の匂いがワナに付くと捕獲効果が低下すると心配する声があります。捕獲個体の処分後は、ワナ内の草や泥、糞などは外に出し、水洗いするようにしてください。
- (ウ) アライグマは集団で行動するため、捕獲だけで被害を防ぐことはできません。農業被害の防除の際には、捕獲と並行して被害防止策についても検討することをお奨めします
- (エ) 捕獲されたアライグマをいじめたり、不要なストレスを与えたりしないようにしてください
- (オ) アライグマを捕獲する場合には、原則として外来生物法に基づく防除の確認又は認定を受ける必要があります。詳細は、環境省北海道地方環境事務所野生生物課(011-251-8704, <http://hokkaido.env.go.jp/>)までお問い合わせください。